

令和7年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク

第5回 概要報告

奈良教育大学 ESD・SDGs センター研究員 杉山 拓次

■第5回 朝の春日山原始林（滝坂の道）

実施日：10月4日（土）7:00～10:30

参加者：8名（学部生：4名、院生：1名外部教職員1名、教職員：杉山、河野）

概要：早朝に大学から高畑を歩き、春日山原始林の南端となる滝坂の道（旧柳生街道）を歩きます。朝の清々しい空気を味わうとともに、高畑と春日山のつながりについても意識します。

スケジュール	
7:00	奈良教育大学正門集合/自己紹介
7:10	高畑散策：鏡神社～新薬師寺～隔夜寺～飛鳥中学校～白乳神社～滝坂の道
8:20	滝坂の道・入り口広場：五感の体操、ルーペで見る
9:10	下山し高畑～白毫寺周辺散策（赤乳神社～東山緑地～白毫寺～宅春日神社）
10:30	大学正門にて解散

■概要報告

あいにくの雨の中でのフィールドワークとなった。大学から滝坂の道までの間の高畑町について、入江泰吉記念写真美術館や、鏡神社、新薬師寺なども簡単に説明を行い、春日山と高畑周辺地域のつながりについて意識する機会とした。学生は高畑町を訪れたことがなく、新薬師寺など歴史や行事が継承されている寺社などについても知る機会があると良いと感じた。

滝坂の道では、森を感じる体験等を行なったものの、雨天と暖かい気候が重なり、ヤマビルが多く発生したため、なかなか観察に集中することができなくなったため、1時間弱で引き返すこととした。森での空気を楽しんだり、道中で葉っぱの匂いを嗅ぐなどの体験はできたものの、雨天時のヒルへの対策は課題となった。

下山後は、白乳神社と対となる赤乳神社や、東山緑地、白毫寺など普段歩くことのない場所を歩きながら、高畑・白毫寺周辺の史跡が残されていることや、山辺の道として整備されている道も存在していることに気づくような機会となった。天候不良やヤマビルなど学生にとっては過酷なフィールドワークとなってしまったが、大学周辺について改めて意識する機会となっていればよい。

■写真

	
滝坂の道入口（原始林）にてコケの観察	雲の立ち上る春日山（赤乳神社より）